

プレスリリース

平成19年6月29日

東北農政局

「第2回東北大豆ピカイチ大賞表彰式」の開催について

東北ブロック豆類経営改善共励会では、特に経営改善の面から先進的で他の範となる大豆生産農家及び生産集団を表彰するとともに、その取組事例について、管内に広く普及啓発を行うことにより、東北の大豆産地の底上げを図ることを目的として東北地域大豆振興協議会との共催で「第2回東北大豆ピカイチ大賞表彰式」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

日時 平成19年7月6日（金） 17:10～17:50

場所 仙台第1合同庁舎8階講堂

受賞者の概要 別添参照

問い合わせ先

東北農政局 生産経営流通部 農産課

担当：峯岸

TEL：022-263-1111

(内線4428)

FAX：022-217-4180

第2回 東北大豆ピカイチ大賞受賞者の概要

集団の部

- ・東北地域大豆振興協議会長賞
岩手県北上市 二子中央営農組合
代表者 小舘 長純 氏

二子中央営農組合は、特産のさといもと並んで大豆を水田転作の核として取り入れ、水稲、さといも大豆のブロックローテーションの輪作体系により大豆の連作障害を避け、作柄の安定化と高品質化に結びつけるとともに労働力配分の合理化、農地の有効活用を図っている。平成18年度においての大豆生産は、岩手県の産地品種銘柄であるリュウホウを12.7ha 作付け、上位等級比率100%、単収244 kg/10a、労働時間5.56時間/10a、費用合計57,551円/10aを実現しており、高品質、高単収生産を継続的に行っている。

- ・東北ブロック豆類経営改善共励会事務局長賞
山形県寒河江市 三泉大豆生産組合
代表者 秋場 尚弘 氏

三泉大豆生産組合は、寒河江市大豆組合の地区大豆組合として、3集落の転作大豆を担い手4名に集約して平成11年から播種や除草剤散布などの共同作業を行っている。平成18年度の大豆生産においては、タチユタカを4.96ha 作付け、上位等級比率65.1%、単収213 kg/10a、労働時間6.6時間/10a、費用合計61,658円/10aを実現しており、高品質、高単収生産を行っている。